

編集顧問

阿部 弘
岩崎 喜信
大本 堯史
河瀬 斌
菊池 晴彦
桐野 高明
高倉 公朋
田中 隆一
西本 詮
橋本 信夫
早川 徹
堀 智勝
吉田 純
吉本 高志

編集委員

佐々木富男
(編集委員長)
新井 一
岡田 芳和
片山 容一
斉藤 延人
高安 正和
伊達 勲
富永 悌二
寶金 清博
宮本 享
吉田 一成
吉峰 俊樹
若林 俊彦
(五十音順)

この号にも、多くのすばらしい論説や論文が掲載されている。森健太郎教授の「扉」に始まり、金彪教授および米川泰弘教授の連載に至るまで、誰しも読み応えがあると感じるだろう。著者の方々の本誌に対する熱意に心から御礼申し上げたい。

藤原一枝先生の「読者からの手紙」を読んで、故平川公義教授のお手伝いをさせていただいたことを懐かしく思い出した。「頭部外傷 10 か条の提言」を編纂した時のことである。何度も夕方から出版社の会議室に集まり、夜遅くまで議論をした。手前味噌で恐縮だが、電車のつり革を架橋静脈に擬したイラストは、私のアイデアである。何をそんなに議論することがあったのか。学問としての記述よりも、現場での問題を的確に扱うことに重点を置いていたからのように思う。学問としての記述を厳密にすればするほど、かえって現場での問題を解決できなくなることがよくある。

昨今、スポーツ頭部外傷による脳損傷の事例で、後から脳神経外科医が意見を求められることが多くなった。困ったことに、大部分の脳神経外科医は、安易に「セカンド・インパクト症候群の可能性がある」と述べてしまう。学問としてなら、この言葉そのものは正しい。ところが、それが一人歩きすると、現場では大変なことになる。スポーツによっては、わずかな頭部打撲なら頻繁に起きる。そのすべてがセカンド・インパクト症候群の原因であるはずはない。しかし、重篤な脳損傷を起こす前にわずかでも頭部打撲があったとすれば、指導者や医師は、セカンド・インパクト症候群を防げなかったという責任を問われることになる。昨今は、それで裁判になった事例がいくつもある。

こうなると、指導者も医師も、わずかな頭部打撲があらうものなら、ただちに試合も練習も禁止することになりそうである。それも困るので、何らかのガイドラインが求められるようになった。このような要請に応えるのは難しい。故平川教授は、「実効のある結果を出すには相当のエネルギーを必要とする」と述べられたという。現場の問題は、常に学問としての記述よりも難物であることを知っておられたからだろう。

Neurological Surgery 脳神経外科

(第 41 巻第 9 号)

2013 年 9 月 10 日発行 (毎月 1 回 10 日発行)

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

[2013 年 年間購読料 (税込、送料弊社負担)]
冊子版/通常 32,760 円、冊子版/個人特別割引 30,030 円、冊子 +
電子版/個人特別割引 35,030 円、冊子 + 電子版/共有 42,700 円、
電子版/個人特別割引 30,030 円、電子版/共有 37,700 円

E-mail : noge@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/noge/

投稿論文オンライン受付 ID : noge パスワード : noge

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(担当: 松田・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株)医学書院が保有します。
• 本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

• JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。